

大南の軌跡

武蔵村山市立 小中一貫校
大南学園第七小学校
学園だより NO2
令和6年4月26日

「大事にしていきたいこと」

武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校
校長 川口 周作

保護者会・面談へのご来校ありがとうございました。保護者会でもお知らせさせていただきましたが、今年度は、昨年度以上に学校へ来ていただく機会を増やしていきます。協力依頼ということが多いかもしれませんが、是非、ご都合が良ければ来校していただき児童の様子や教育活動の様子をご覧ください。

新年度が始まり、3週間が過ぎました。朝の登校の様子は、8時10分学校玄関到着の児童が9割ほどです。その後、8時20分までに授業の準備等をしています。6年生は、1年生に優しい言葉で声をかけ準備の手伝いをしています。また、先週はプール門（北門）で泣いている1年生に声をかけて、昇降口まで手をつないで一緒に行く6年生や5年生の姿がありました。先日は、四中の生徒が登校途中から泣いている1年生と一緒に昇降口まで送り届けてくれる姿がありました。今年度、四中と登校時刻が同じになったことの一つの良い成果の現れであると思いました。

困っている人を助ける・人の役に立つ児童が増えるように、今後も学校教育全体の中での道徳的価値を高めた教育活動にしていきます。

さて、表題にもある「大事にしていきたいこと」についてです。メディアやSNSに触れる機会が多くなり、私たちは多くの情報を知ることができます。また、一人一人の考え方や思いも知ることができます。社会問題や自然災害の情報を知るたびに不安や心配に思う人が増えているとの調査結果もあります。このような世の中で児童の「生き抜く力」を身に付けるために、以下の二点を今年度の重点にしたいと考えています。

「みんな ちがって みんないい」

4月は、新しい仲間や新しい先生との出会いで、「この人、どんな人だろう？」という不安をもちながら学校生活を送っている児童も多くいます。学校は、教職員と1年生から6年生までの児童しかいません。地域や他のコミュニティの場では、様々な人がいます。今年度は、本校の教育活動内で「人とかかわる楽しさ」を育てていきます。「みんな ちがって みんないい」をご家庭ともに合い言葉にしていきたいです。

「運動・食・生活習慣」

健康教育を進めていく中で、学ぶ力が高まったり、人との関わりが豊かになったりできるような活動を研究し実践していく予定です。連休明け後は、生活習慣の確認を行っていきます。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

～食のお話～ ※今年度は巻頭言の下段は、運動・生活習慣・食に関連することを掲載していきます。

五月五日は「端午の節供」。田植え前の五月行事のために村の人たちがつくり、食べてお祝いしたのが「かしわ餅」です。かしわ餅の原型は「ぶと」と呼ばれた古代菓子で、兜の形をしています。米の粉を練って、小豆あんを包み、兜形のもちをつくりかしわの葉で包んで蒸したものです。形は敵を防ぐ兜のようにして、悪霊よけとしたとの話があります。 引用文献：和食ことわざ事典（東京堂出版）